

ラジオ「福音の光」説教

「人生三つの坂」

エレミヤ書 29 章 11～12 節

姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

おはようございます。「人生には三つの坂がある。トントン拍子の上り坂、この反対に何をしてもしようがない下り坂、そしてもう一つの全く予期せぬまさかです」という言葉を聞いたことがあります。私たちが道を歩く時上り坂下り坂に出会います。この放送をお聞きの方には人生を歩み始めた方、半ばの方、終わりに近づいている方々がいらっしゃるのではと思います。そしてその途上で上り坂、下り坂と思える経験をして来られたことでしょう。私たちは上り坂の時のみならず下り坂と思える時にも希望を持って歩みたいものです。

もう一つのさかは「まさか（真逆）」です。「まさか」とは予期せぬ時に思いがけない事が起こり戸惑っている状態を表す言葉です。

かつて神様の選ばれた北イスラエルの首都サマリヤがアッシリヤによって滅ぼされ、人種交換、即ちサマリヤ人がアッシリヤに、アッシリヤ人がサマリヤに移住するという出来事が起こったのです。しかしその出来事を対岸の火事のように眺めていた南ユダにもまさかの出来事が起こったのです。即ち神の都であるエルサレムにバビロン軍が攻撃し、神殿を破壊し、エルサレムの住民をバビロンに連れて行き捕囚としたのです。神様から選ばれたイスラエルとユダの民に「まさか」誰も予想していなかった事が起こったのです。その背景の中で預言者エレミヤを通して語られたのが今朝読んで頂いたみ言葉なのです。何と豊かな慰めと励ましに満ちた言葉でしょう。

今まさにまさかを経験しておられる方はないでしょうか。こんな目に遭うとは思わなかった。いじめられた、失敗した、成績が悪い、病気をした、親が離婚した、親しい人と死別した、先生や友人に誤解された等々、様々なことに出会い予期しない経験をして嫌な自分を見出すことがあるのではないのでしょうか。

私は高校二年生の時に重い腎臓病を患い一年余り入院生活を送りました。私にとって「まさか」の時でした。しかし天地万物を創造され、今も生きて働いておられる神様は、私たち一人ひとりを愛して下さり、「私はあなたの方のために立てている計画をよく知っている」と語り、それは「災いではなくて、平安を与える計画であり、将来と希望を与えるためのものだ」と約束して下さっているのだと気付かされたのです。そして私はこのみ言葉によってどれ程慰められ、勇気づけられたか分かりません。

神様は私たちに「あなたがたが私を呼び求めて歩き、私に祈るなら、私はあなたがたに聞こう」と約束されたのです。ですから神様に祈り、お縋りすればよいのです。真理が何か、何をすればよいのか、探し求めればよいのです。神様が最善なことを教え、最も良い道を示し、ふさわしい将来を開いて下さると信じて疑いません。皆さん方が今置

かれた状況の中でお一人お一人父なる神様のみ言葉に生かされ主イエス様に信頼して
祈り求め幸いな生涯を全うして下さる事を願って止みません。